

## 平成28年度 第4回教育研究評議会議事要録

日 時 平成28年7月14日(木) 14:30～17:05  
場 所 工学部 E5棟 イノベーションルーム  
出席者 三村学長, 尾崎理事, 太田理事, 袖山理事, 影山理事, 米倉副学長, 佐川人文学部長, 生越教育学部長, 折山理学部長, 馬場工学部長, 久留主農学部長, 木村全学教育機構長, 高橋図書館長, 田中評議員, 蓮井評議員, 荒川評議員, 小野寺評議員, 田内評議員, 吉田評議員, 伊藤評議員, 増澤評議員, 中石評議員, 後藤評議員

欠席者 なし

陪席者 増子監事, 中庭監事, 泉岡副学長, 栗原学長特別補佐, 横木学長特別補佐, 鈴木学長特別補佐, 森学長特別補佐, 原口学長特別補佐, 羽瀧学長特別補佐, 大塚執行部スタッフ, 総務部長, 財務部長, 学務部長, 学術企画部長, 総務課長, 大学戦略・IR室副室長, 地方創生推進室副室長, 人事課長, 財務課長, 施設課長, 学務課長, 企画課長, 各学部事務長

### 議 題

#### 審議事項

- 1 茨城大学の研究推進方針(案)について
- 2 茨城大学戦略的研究の認定について
- 3 英国ウスター大学と日本国茨城大学との間における交流に関する覚書及び学生交流協定について
- 4 学部の課題について(工学部)
- 5 その他

#### 報告事項

- 1 工学部定員増に係る文科省折衝について
- 2 茨城大学学長学術表彰について
- 3 キャンパスマスタープランの改訂版について
- 4 日立オートモティブシステムズ株式会社との連携事業実施協定について
- 5 平成28年度茨城大学オープンキャンパスについて
- 6 平成28年度茨城大学重点国際交流事業について
- 7 平成28年度(第53回)国立大学教養教育実施組織会議等について
- 8 平成28年度前学期「学生懇談会」の実施について
- 9 茨城大学早期退職制度について
- 10 学生の事件・事故について
- 11 茨城大学基幹サイトリニューアルについて
- 12 茨城大学高大接続協議会の設置について
- 13 茨城大学基金の受入開始について
- 14 第2期中期目標期間における国立大学法人評価に係る各報告書の提出について
- 15 その他

議 事 概 要

## I 審議事項

### 1 茨城大学の研究推進方針（案）について

学長から、審議願いたい旨の提案があり、尾崎理事から資料1に基づき説明があり、審議の結果、提案のとおり了承された。

### 2 茨城大学戦略的研究の認定について

学長から、審議願いたい旨の提案があり、尾崎理事から資料2に基づき説明があり、審議の結果、提案のとおり了承された。

### 3 英国ウスター大学と日本国茨城大学との間における交流に関する覚書及び学生交流協定について

学長から、審議願いたい旨の提案があり、森学長特別補佐から資料3に基づき説明があり、審議の結果、提案のとおり了承された。

### 4 学部の課題について（工学部）

学長から、審議事項としているが、各学部における状況や課題等について説明願いたい旨の提案があり、馬場工学部長から資料その他1に基づき説明があった。

#### 【主な意見】

- 専門性を持たせる教育をすると説明されたが、4年で卒業する学生と、大学院へ進学する学生へのカリキュラムなどについて、どのように工夫をされているのか。
- プログラムの立て方などを検討しているが、大きな課題であると認識している。
- 社会人学生向けに、夜間開講科目の履修のみで卒業要件を満たせる条件を維持するとあるが、具体的にはどのようにされているのか。また、それらを担当する教員のワークライフバランスについてはどのようにお考えか。
- 現在でも夜間開講科目の履修のみで卒業できるが、夜間のみで卒業するためには、4年次後期までしっかりと履修しなければならない。今の体制を維持しつつ昼間の授業を取れる体制を検討していく。また、担当する教員のワークライフバランスについては今後検討していく。
- 講義用VCS設備の拡充とあるが、具体的な必要個数やニーズなどについて示していただきたい。また、コーディネーターの確保とURAの活用とあるが具体的にはどのようなことか。
- 講義用VCS設備については調査したうえでお知らせする。また、コーディネーターやURAについては、通常の企業経験者の方では難しい部分もあり、出来ればドクターを修了された方が望ましいと考える。
- 学内のスペースについては、把握をし直し、どのようにして共通スペースなどを拠出し活用するか再度検討することとしているが、工学部の各学科において、整理すると新しいスペースが出来ると思われるが、そのような取組みをされているか。
- 昨年度から毎年実施している。各領域から10%程度のスペースを拠出するよう要請することを検討している。

## II 報告事項

### 1 工学部定員増に係る文科省折衝について

馬場工学部長から、資料その他2に基づき報告があった。

- 2 茨城大学学長学術表彰について  
尾崎理事から、資料4に基づき報告があった。
- 3 キャンパスマスタープランの改訂版について  
袖山理事から、資料5に基づき報告があった。
- 4 日立オートモティブシステムズ株式会社との連携事業実施協定について  
影山理事から、資料6に基づき報告があった。
- 5 平成28年度前学期「学生懇談会」の実施について  
栗原学長特別補佐から、資料10に基づき報告があった。
- 6 茨城大学早期退職制度について  
人事課長から、資料11に基づき報告があった。
- 7 学生の事件・事故について  
太田理事から、資料12に基づき報告があった。
- 8 茨城大学基金の受入開始について  
基金室長から、資料15に基づき報告があった。

### III 監事からの意見

- ・工学部の組織改革について、工学部長をはじめとする皆様のご尽力により進んできているが、工学部の課題は学生数の確保である。平成27年度監事監査報告書にも述べているので、しっかりと対応していただきたい。また、キャンパスマスタープランの改訂版について、全体的に不十分であるので、中味を良く整理していただき、より良いキャンパスマスタープランを作成していただきたい。
- ・日立キャンパスの施設見学や、現状や課題などについての説明をいただき、改組に向けて様々な努力や工夫をされていることが理解できた。説明の中で学生数が増え、それに伴う教員不足や研究スペースの確保などが課題であるとあったが、今後はキャンパスマスタープランに位置付けておくことが非常に重要になってくる。本学は第3期中期目標・中期計画に沿って全学教育機構等の設置や、各学部の改組などにより大きく動いており、それらを進めるために、必要な施設や設備などを十分に精査したキャンパスマスタープランを作成し、より全学で理解された改革を行っていくことが重要である。また、平成27年度監事監査報告書においても、稼働率の低い施設の在り方について検討していただきたいと記載しており、そのような施設などの在り方の具体的な検討も含め、本学の改革を十分に踏まえたキャンパスマスタープランが作成されることを期待する。

### IV その他

教育研究評議会会議資料の公開について

学長から、資料の公開について、以下のとおり確認があった。

非公開：資料2，12（要回収） それ以外は全て公開する。

次回 教育研究評議会開催（阿見キャンパス）

9月15日（木） 14時30分から